

動物たちのフィールドサイン



2022年3月

石川県白山自然保護センター

はじめに

フィールドサインとは、野外でみられる動物の痕跡のことです。野生の獣たちの姿を直接観察することはとても難しいことですが、動物たちが残していったフィールドサインをもとに、動物たちの生活を垣間見ることができます。フィールドサインには、足跡、食べ痕、フンなどがあり、それを調べることで、どんな動物が、どこで、何を食べたか、何をしていたかなどを推測することができます。フィールドサインを知ることにより、今まで見えなかった動物たちの生活が分かるようになります。この冊子では、白山周辺に生活する主な動物のフィールドサインの見方を紹介します。身近な場所に生活する動物たちに関心をもつていただければ幸いです。



野ネズミの後を追うテンの足跡

表紙 雪の上のノウサギの足跡
裏表紙 雪の上のノウサギの糞

もくじ

ニホンジカ	2
カモシカ	5
イノシシ	7
ニホンザル	10
ツキノワグマ	12
キツネ	15
タヌキ	16
ノウサギ	17
ニホンリス	18
その他の動物	19
やってみよう！	20
おわりに	21

ニホンジカ



副蹄は小さく上につく

ニホンジカは、かつて県内ではほとんど姿が見られなくなりましたが、2000年ごろから次第に目撃されるようになってきました。成熟したオスには枝分かれた角があり、これは毎年生え替わります。草や木の枝葉を食べますが、木の皮をかじることもあります。全国でもシカが増えすぎた地域では、高山植物など貴重な植生を食い尽くしたり、植栽した樹木を枯らしたりして問題になっています。

【足跡】足は蹄で、二つの大きな蹄と小さな副蹄があります。副蹄の跡は深い雪な



副蹄のあとはほとんどつかない



エゾユズリハの食痕



樹皮を剥がされたりョウブ再生した赤茶色の樹皮が目立つ



荒々しく樹皮をかじられたネムノキカモシカは樹皮をかじることはない

どでは付きますが、ふつうは付きません。

【食痕】上の前歯がないため、枝先の食痕は木の繊維が残り、引きちぎったようになります。カモシカも同じで、草や枝先の食痕で両者を区別するのは難しいです。

ニホンジカは、幹や枝の樹皮をかじって食べることもあります。カモシカは食べません。また、クマより雑なかじり方をします。特にネムノキとリョウブの樹皮が好きようで、特徴的な食痕を見ることができます。生息密度が多い他県では、林内の口の届く大部分の植物が食べつくされた所も多くあります。



背の届く草や枝を食べつくされた林内



粒状の糞



バラバラとまき散らしたような糞



角とぎで樹皮をはがされたスギ

【糞】カモシカと同じように粒の糞ですが、10～30粒ほどがバラバラと散らばって落ちていることが多いです。

【角とぎ】オスは角を木の幹にこすりつけるために、樹皮が剥がされたり、傷つけられたりします。角とぎは細い枝にも太い幹にも見られ、角の先端で突いた跡が残ります。カモシカと比べ、広い範囲の樹皮を荒々しく剥ぎます。

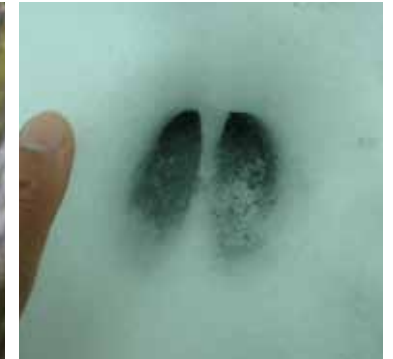


細い木で角とぎする場合
カモシカと比べ剥皮部分が長い



角の先端でついたような跡

カモシカ



やや丸みのある蹄の跡

カモシカは石川県内において、1970年ごろまでは白山周辺に限って生息していましたが、今では七尾あたりまで生息地が拡大しています。オス、メスともに枝分かれしない角があり、一生抜け替わりません。

【足跡】ニホンジカより丸みがありますが、よく似ており識別は困難です。

【食痕】上の前歯がないので、枝葉を引きちぎったような食痕が付き、ニホンジカと区別は困難です。ただし、ニホンジカのように幹の樹皮を剥いで食べることはありません。



副蹄のあとはほとんどつかない



枝先を引きちぎったような食痕



ササを引きちぎった食痕
ニホンジカと区別するのは困難



たくさんの糞がまとまって排泄される

【糞】ニホンジカと同じような粒状の糞ですが、1回の排泄量が多く通常50粒以上をかたまて排出します。新旧の糞がまとまってあり「ため糞」と言われます。水分の多い餌を食べたときは、粒のまとまった糞もします。

【角とぎ】ニホンジカのように太い幹は使わず、手で握れる程度の細い木に、長さ30cm程度こすった跡が付きますが、ニホンジカのように先端で突いたような跡はつきません。



粒のまとまった糞
ニホンジカでも見られる



細い木の角とぎ跡
ニホンジカより剥皮部が短い

イノシシ

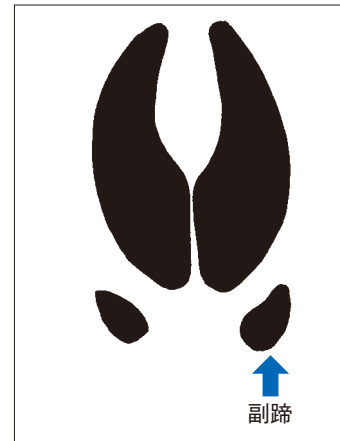


副蹄は大きく開く

かつては県内にはわずかししか生息していませんでしたが、2000年ごろから急激に増加し、今では県内全域で見られます。土を掘り返して餌を食べ、耕作放棄地や放置竹林などが絶好の生息地になっており、農業被害も多くなっています。

【足跡】2つの大きな蹄のほかに、横に広がった副蹄があり、この跡がしっかりつくことで、ニホンジカやカモシカと区別することができます。

【食痕】土の中の植物の根や球根、昆虫などの生き物を力が強い鼻で掘り返して食



開いた副蹄の跡がしっかりつく



土を掘り起こし餌を捜した跡



地中から掘り出されたクズの根



踏みつけられた水稲

べるため、土を激しく掘った跡が見られます。イノシシが生息する場所ではこの跡がよく見られます。

【糞】 つぶれた塊が繋がった形をしており、土を多く含むため黒っぽいです。

【ぬた場】 イノシシは泥浴びをして、体についた寄生虫などを落とすといわれています。赤土など水たまりができてやすい場所に土を掘って水がたまった「ぬた場」があります。ぬた場の周辺には体についた泥を幹にこすりつけたあとがよく見られます。体をこすりつけるのは松が好きようです。



石や標柱までも掘り起こされる



団子を固めたような土の入った糞



泥水のたったぬた場



体をこすりつけた幹

【寝屋】 ススキやササなどがかみ切られて、直径 1.5m ほど丸く敷き詰めたようなものはイノシシの「寝屋」と言われて、この中に入って休息場にするようです。

【牙とぎ】 鋭い牙を幹にこすり付けるため、斜め下からしゃくりあげるような傷が幹につきます。



ササやススキで作った寝屋
かみ切られた草が丸くかためられている



ナイフで削ったような牙とぎの跡
ニホンジカの角とぎは尖ったもので
ついたようになる

ニホンザル



雪の上を群れが歩いた跡

県内では1960年代には尾添川上流域に限って生息していましたが、次第に生息地を拡大し、今では加賀南部に広く生息しています。群れで生活し、カキや畑の野菜を食べに人里に下りてくる群れもいます。

【足跡】前足は人の手の跡に似ており、後足は親指が離れて広がるようにつくのが特徴です。群れで行動することが多いので、たくさんの足跡が残っていることが多いです。



前足と後ろ足の足跡
後ろ足は親指が開く



クワの樹皮をかじった食痕



ツタウルシの樹皮をかじった食痕



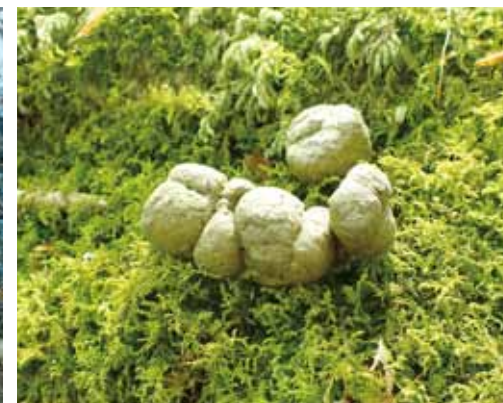
食べ散らかしたクリ

【食痕】いろいろなものを食べますが、カキやクリなどは実をかじっては木から落とすので、木の下は食べ残しが散らかっています。また、冬期は木の樹皮をかじりますが、剥がされた跡が白く目立ちます。かじられる木は、コシアブラ、クワ、フジなどが特に好きだそうです。

【糞】つぶれた団子が繋がったような形が多く、春から夏は柔らかな葉を主に食べるので青っぽい糞をします。冬の樹皮を食べた糞は木の繊維が多くみられます。



ホオノキの冬芽の食痕



ブナの花を食べた早春の糞

ツキノワグマ



後足の足跡

加賀南部の山林に生息していましたが、近年では能登にも生息地が拡大し、集落近くの里山に住み着くものもいるようです。基本的に植物食で、草や木の実を食べますが、アリやハチなど昆虫も好きで、チャンスがあれば動物の肉も食べます。冬の間は木や岩の穴の中で冬眠します。



前足の足跡



幹についた爪跡



オニグルミに登り実を食べた跡



鳥の巣のような「クマ棚」

【足跡】横に広い前足と、人間の素足に似た後足があり、5本の指と爪の跡が見られます。木によく登り、幹についた爪痕も見ることができます。

【食痕】カキ、クリ、クルミ、ミズキなどは、木に登って枝を折って実を食べるため、折った枝が鳥の巣のように枝にかかっています。これを「クマ棚」といい、クマが来ていた良い目印になります。

【クマ剥ぎ】樹木が肥大成長する初夏に、スギ、ヒノキなどの樹皮を剥ぎ、柔らかか



バナナの皮をむくようにスギの樹皮をはぎ、表面をかじり取る



シカより規則的に並んだ歯形がつく



クマ剥ぎで枯れたスギ林



かじられた登山案内板

い表面を歯で削り取るようにして食べます。剥がされた木は枯れたり、材が変色したりして林業的に大きな被害となります。また、ペンキのにおいが好きで標識などをかじります。

【糞】両手ですくい取るぐらいの量で、太いものでは直径5cmほどの大きな糞も見られます。内容物は同じものであることが多く、夏には柔らかな草を食べて緑がかかった色のべったりした糞で、秋にはブナやミズナラの実を食べた糞が多くみられます。



黒緑のべったりした夏の糞



ぎっしりとブナの実の殻が詰まった秋の糞

キツネ



直線的な足跡が多い

山林のほか、河川敷、海岸林に生息しており、ノウサギや野ネズミなどを捕らえるほか、カキなどの果実や生ごみを漁することもあります。

【足跡】イヌによく似た足あとで、4つの指の肉球のあとが付きまます。普通に歩く時の足跡は一直線上に並ぶことが多いです。

【糞】中型犬ほどの大きさですが、小動物を食べた糞には毛や骨、歯が入っています。カキなどを食べると種が入っています。



イヌ（左）とキツネ（右）の足跡



昆虫や木の実を食べた糞

タヌキ



キツネより横長な足跡

山林や、竹林など里山に広く生息し、木の実や昆虫、小動物、人間の出した生ごみなどいろいろなものを食べます。

【足跡】ネコに似た4つの横に開いた指の肉球のあとが付きますが、ネコには爪痕は付かなく、タヌキには付きます。まっすぐ歩かず、ジグザグに歩きます。

【糞】種子、昆虫、動物の毛や骨など雑多なものが入り、何回も同じ場所を使う「ため糞」になります。



ネコ（左）とタヌキ（右）の足跡

何回も同じ場所を使う「ため糞」

ノウサギ



後足が前に横で並び、前足が後ろで縦に並ぶ特徴的な足跡

山林や、海岸林、河川敷に生息しており、褐色の毛は冬に白くなるものが多いです。草や木の枝先を食べますが、樹皮をかじることもあります。

【足跡】雪の上でよく見ることができ、長い後ろ足の跡が横に並び、その後ろに丸い前足の跡が縦に付きます。

【食痕】木の枝先を食べるときは、斜めに鋭く切り取ったように見えます。

【糞】丸くて少し潰れた糞では、木の繊維を見ることができます。



斜めに鋭く切り取られた食痕

団子のような糞

ニホンリス



後足が前、前足が後ろに横に並ぶ足跡

山林に生息し、オニグルミやマツの実を好んで食べます。樹上に細かく裂いたスギなどの皮で巣を作ります。

【足跡】ノウサギに似た小さな足あとを付けます。木に登ったり、地上を走ったりしていることがわかります。

【食痕】松ぼっくりから種を食べた跡は「エビフライ」のように見えます。オニグルミの殻はきれいに二つに割ります。



松ぼっくりを食べた「エビフライ」

オニグルミを二つに割るニホンリス（左）と
穴をあけるアカネズミ（右）

その他の動物



【ニホンイタチ】川岸でよく見られ、小さく、5本の細い指の跡がつく。糞は細長く、石や道路の縁石の上で見える。

【テン】通常は、2本の前足と後ろ足をそれぞれそろえた足跡だが、速度によって変わる。指は5本で、イタチより大きい。糞には小動物のほかサルナシやキイチゴの種子もよく混じる。



【イヌ】写真は大型犬 中型犬はキツネに似るが、イヌの足跡にはたいてい人の足跡が並んでいる。通常はドッグフードを食べているので糞の未消化物は見られない。



【ネコ】イヌより丸みのある足跡でタヌキに似るが、ネコには爪痕が付かない。

やってみよう！

【石膏で足跡をとってみよう】



はっきりついた足跡を、厚紙の帯で隙間のないように囲む



石膏を漏れないように流し込む



石膏が固まったらはがし、ついた泥を洗い流す

石膏で立体的に足跡をみると、爪の様子など写真ではわからない特徴を知ることができます。きめ細かな泥についた足跡がおすすです。

【糞の内容物を調べよう】



ツキノワグマ、キツネ、タヌキなどは糞の未消化物を観察しやすい



左のツキノワグマの糞を洗うと、すべてヤマザクラの種子だった



白山室堂のキツネの糞の内容物
ベニバナイチゴ
輪ゴム
ハタネズミ
ノウサギ
オサムシ

糞は寄生虫などがついているので、素手では絶対に触らないようにして、観察後は手を充分消毒しましょう。

おわりに

野生の動物たちの姿はなかなか見ることができません。しかし、集落周辺の里山でもいろいろな動物たちが暮らしているようです。野山を散策していて、フィールドサインを見つけたら、彼らが何をしていたか想像を巡らしてみてください。きっと、より深く楽しく自然が見えてくると思います。

動物たちは、時には人間生活に被害をもたらすこともあります。ニホンザルやイノシシは農作物を荒らしますし、ニホンジカは植えた木を枯らすこともあります。ツキノワグマは、人と出会えば重大な人身事故をも起こしかねません。

このため、動物のフィールドサインを調べて、動物がいつ、どのくらい、何を目当てに来ているのか推測することが極めて重要になります。

皆さんもこの冊子を手にも、フィールドサインのなぞ解きに挑戦してみてください。

白山の自然誌 42 動物たちの フィールドサイン

発行日 令和4年3月31日
文・構成 八神 徳彦
写 真 有本 勲、小川弘司、後藤理子、南出 洋、
宮崎顕治、村中克弘、八神徳彦
発行 石川県白山自然保護センター
〒920-2326 石川県白山市木滑ヌ4
Tel. 076-255-5321 Fax. 076-255-5323
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/index.html>
E-mail : hakusan@pref.ishikawa.lg.jp
印刷 株式会社 中川印刷